

濱田龍臣、南沢奈央、新井浩文、田口トモロヲ出演の話題作
映画「皆既日食の午後に」

iPhone、iPad、Android携帯用アプリを国内先行販売開始

Superflyの3rdアルバム「Mind Travel」収録、アルバム最後を飾る名曲「Ah」、その歌詞有りバージョン「ああ」を映画化した「皆既日食の午後に」が6月29日(水)、iPhone、iPad、Android携帯用アプリケーションとして、国内先行販売を開始します。監督は、昨年のショートショート フィルムフェスティバル & アジアの「ミュージックShort部門」優秀賞、オーディエンスアワード(観客賞)のダブル受賞を果たした、常盤司郎監督。日本先行販売後、順次、世界販売も行う予定です。6月29日(水)～8月31日(水)の期間限定で、通常350円を230円で販売します。

ミュージックShort部門特別製作作品 「皆既日食の午後に」

(監督: 常盤司郎 / アーティスト: Superfly / 楽曲: 「Ah」 /

出演: 濱田龍臣、新井浩文、南沢奈央、田口トモロヲ 他)

21年ぶりの皆既日食が訪れようとしている夏の午後、窓際で退屈そうに外を眺める少年の視界に飛び込む怪しげな人影。窓ガラスを割り、隣りの家に入ってゆくその男の姿に何故か心躍る。そしてその家に荷物を届けるため、車を走らせる宅配の中年男と無愛想なバイト娘。全く関わりのなかった男女3組が、何故か皆既日食のこの午後だけにだけ出会う。太陽と月が重なるように、小さな悩みを抱えた登場人物達の心が重なった瞬間、21年ぶりの贈り物が届こうとしていた…。

＜アプリケーション概要＞

■アプリ発売日: 2011年6月29日(水)

■販売場所: App Store, Android Market

■アプリ特設サイト: <http://www.shortshorts.org/app/>

■期間限定特別価格: 6月29日～8月31日 ¥350→¥230

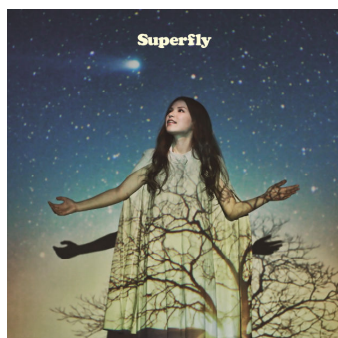
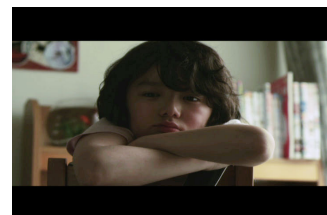
■特典

- ① 作品紹介
- ② スタッフ&キャストコメント
- ③ メイキング映像
- ④ 映画「皆既日食の午後に」脚本
- ⑤ Superflyによる「Ah」/「ああ」

■発売元: 株式会社パシフィックボイス

映画「皆既日食の午後に」の詳細はこちら

<http://www.shortshorts.org/>



Superfly からのコメント

今回、私自身も気持ちをこめて作った「Ah」という楽曲に、『皆既日食の午後に』という素晴らしい作品が作られたということをととても嬉しく思います。どういった映画が仕上がってくるか個人的にもすごく楽しみにしていましたが、とても素敵な作品でした。心の奥の方がじんわりと温かくなっていくような作品で、人間の優しさというか、表面的ではない、深いところにある優しさみたいなものが表現されているように感じて、胸が温かくなりました。この映画が、ショートショート フィルムフェスティバル & アジアから世界へ飛び出していくことを楽しみにしています。



濱田龍臣

4歳より本格的に芸能活動開始。CM「山崎製パン」「オロナミンC」や、フジテレビ「まるまるちびまる子ちゃん」で花屋のとくちゃん役等で出演。2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」にてオーディションで1000人の中から選ばれ、坂本龍馬の幼少時代を演じ話題となる。また2010年4月日本テレビ土曜ドラマ「怪物くん」で市川ヒロシ役でさらに注目される。その後はドラマ、映画、CM、クイズ番組等のバラエティー、9歳にてミュージカル座長公演、今春ディズニーアニメ映画の主人公の声優も務めました。今年はずでにCMが4本決以上決定、11月26日～3D映画「怪物くん」(東宝)が公開、また映画「愛しの座敷わらし」(来年公開予定、東映)への出演が決定。



新井浩文 (月雄)

2001年公開の映画『GO』で映画デビュー。2003年には映画『青春』で高崎映画祭最優秀新人男優賞を受賞。作家・花村萬月の芥川賞受賞作品を映画化した2005年公開の映画『ゲルマニウムの夜』では初主演を果たす。同作品は第18回東京国際映画祭に出品され話題となる。以降、「隣人13号」、「ゆれる」、「劔岳 点の記」、「告白」など映画、TVで活躍している。



南沢奈央

2005年にスカウトされ芸能界入り。連続ドラマ「恋する日曜日ニュータイプ」で主演デビュー。以後、数々のテレビ、映画、舞台などで活躍。2008年ドラマ×映画「赤い糸」でW主演し脚光を浴びる。落語が趣味の現役大学生。映画「象の背中」(07年)、「山桜」(08年)、「シャカリキ！」(08年)、「キミにラブソングを」(10年)「行きずりの街」(10年)「八月の二重奏」(10年)現在NTV系「1億3千万人のエピソードバラエティコレってアリですか？」にレギュラー出演中。



田口モロヲ

1957年生まれ。東京都出身。78年、「発見の会」で舞台デビュー。82年「俗物図鑑」(内藤誠監督)で映画デビュー。84年パンクバンド「ばちかぶり」を結成。89年、映画「鉄男」(塚本晋也監督)の主演。以後、多数の映画に出演。1996年日本プロフェッショナル大賞功労賞、1997年毎日映画コンクール男優助演賞受賞。NHK「プロジェクトX～挑戦者たち」(2000～2005)では、ナレーションを担当した。2003年、映画「アイデン&ティティ」で監督デビュー。2009監督第二作「色即ぜねれいしょん」で、新藤兼人賞・銀賞受賞。最近の主な出演作に『GANTS』『GANTZ PERFECT ANSWER』(佐藤信介監督)、『あぜ道のダンディ』(石井裕也監督)等がある。

監督:常盤司郎

1999年よりフリーの映像監督として活動。映画、広告、アニメーションの監督・脚本をはじめ、井上陽水のCDなどジャケットやキャラクターのデザインと様々な分野で表現活動を続ける。2010年の短編「クレイフィッシュ」ではShort Shorts Film festival & Asia 2010のミュージックShortクリエイティブ部門にて優秀賞と観客賞を開催初のダブル受賞。主な監督作として板尾創路主演「99%の自殺」、サザンオールスターズ・初のドキュメントムービー「FILM KILLERSTREET ～Director's Cut～」等。

オフィシャルサイト: <http://www.shirotokiwa.com>



▼ ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (www.shortshorts.org)



米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年4000本以上にも及ぶ作品が、世界50以上の国や地域からよせられ、のべ14万人を動員するイベントです。これまでに、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、などでも開催され、2010年にはマレーシアでも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。また審査員には、大沢たかお、押井守、奥田瑛二、崔洋一、デーブ・スペクター、武田双雲、竹中直人、土屋アンナ、寺島しのぶ、野口健、堀北真希、村上龍、桃井かおり、山田優など多彩な顔ぶれをお迎えし、様々な視点から審査をして頂いています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また同年10月、石原慎太郎都知事の提案の下、「東京都を拠点とするアジア映像文化のショーケースを設ける映画祭」として「ショートショート フィルムフェスティバル アジア」を「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」の兄弟映画祭として開催。日本で初めての、アジア諸国のショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートしました。現在は、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」として、毎年同時開催を行っています。

また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。本映画祭参加監督には、今や米国アカデミー賞ノミネート監督として名高いジェイソン・ライトマン監督や、「カンフーパンダ」などヒット作を生み出すマーク・オズボーン監督、シンガポールの新鋭、「881 歌え！ パパイヤ」のロイストン・タン監督などがおり、今や第一線で活躍する監督も続々と輩出しています。

▼ ミュージックShortとは？

本映画祭では、音楽レーベル各社から正式にエントリーされた楽曲をもとに製作するオリジナルショートフィルム(ミュージックShortクリエイティブ)と、アーティストのオフィシャルミュージックビデオ(PV)で、ショートフィルムの世界観を持つ作品を「ミュージックShort」として紹介。新たなショートフィルムの形を探究してきました。昨年度は特別製作作品として、大黒摩季の名曲「あなただけ見つめてる」からインスパイアされ、黒髪姿の木下優樹菜が話題となった純愛ストーリー「ゆっきーな」や、土屋アンナの夏曲「Brave vibration」からインスパイアされた「ミステルロココ」なども世界プレミア上映しました。

▼ 株式会社パシフィックボイス

「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」の運営を行う株式会社パシフィックボイスは、太平洋を越えて映像文化の交流がより盛んになることを応援する事業としてスタートしました。アジアの情報基地Tokyo と、映像産業の中心地Los Angeles に拠点をおき、ビジュアルコンテンツの未来の担い手として、世界をつなぐ事業を展開。また、俳優及びスポーツ選手・文化人を中心に、それぞれの個性を大切に育てるマネージメントを提供しています。
(<http://www.pacvoice.com/>)

<本件に関するお問い合わせ先>

ショートショート実行委員会
TEL:03-5474-8844/FAX:03-5474-8202

株式会社プラップジャパン
担当: 持富、伊藤、山口
TEL:03-3486-6868/FAX:03-3486-7502
Email:k-mochitomi@prap.co.jp